

令和6年度(2024年度) 学校自己評価 評価表

31 長野県上田東高等学校

※ 下表中の評価の観点について、今年度の到達状況を各分掌で評価して下さい。

評価は下記にあります数値でお願いいたします。またコメントの記入もお願い致します。
各評価の観点について、十分実現されていると思われませんか。

そう思う…4 少しそう思う…3 あまりそう思わない…2 そう思わない…1 自分には評価できない…0

参考

重点目標	取り組み	評価の観点	評価者	分掌による 評価点	コメント	個人評価 平均点	R5
(1) 学力向上・進路希望の実現とキャリア教育の充実	① 学力向上に向けての取り組みの充実	・学習環境の充実、授業内容の工夫等により生徒の学習意欲を高めることができたか。	学習指導(教科代表)	4	各教科で昨年度の経験を踏まえながら、生徒一人ひとりの学習意欲を高める授業を展開することができた。	3.06	4
		・日常の家庭学習の習慣が身につくよう、予習・復習の重要性を強調できたか。		3	昨年度の課題を踏まえながら、予習、復習等の指導に工夫を凝らすことができたが、今年も生徒の自主的な学習活動については課題が残った。	3.04	3
		・朝ドリルの実施などにより、学習の質・量を高めることができたか。		4	例年どおりSHRで朝ドリルを実施し、生徒の学力向上に寄与することができた。	3.00	4
	② 進路指導の充実	・充実したキャリア教育を実施し、より適切な進路選択ができる力をつけさせることができたか。	進路	4	生徒に寄り添ったキャリア教育を実施し、より良い進路選択ができる力を身につけさせることができた。	3.02	4
		・補習授業や模擬試験を生徒のステップアップにつなげられたか。		4	模擬試験を多くの生徒が真剣に根気よく受け続け、学力の向上につながった。また、補習を受けた生徒の学力も向上した。	3.15	4
		・生徒の進路希望を実現できたか。		4	きめ細やかで親身な指導により、多くの生徒の希望進路を実現できた。	3.15	4
	③ キャリア教育の充実	・現在の学習と将来の職業生活との関係を生徒が理解できるような取り組みができたか。	探究・学習	4	各学年での探究学習を通して、将来の職業や自己のあり方生き方、地域の抱える課題等について、各教科での学びと結びつけて理解を深めることができた。	2.95	4
		・自らの関心や進路に応じた探究活動を通して、学びに向かう態度を育むことができたか。		4	自らの志望校を意識しながらそこで何を学ぶのかを考え、探究活動を行うことができた。	3.05	4
		・就業体験の意義を周知し、多くの生徒が就業体験に参加できたか。	進路	3	参加した生徒は、働くことの意義や自己の興味・適性を探る良い機会となった。	2.40	3
(2) 生徒諸活動への支援	① 生徒会活動の充実	・生徒会活動を通して自主性・協調性や社会貢献の精神を育成できたか。	生徒会	4	他校と連携して震災の募金活動をしたり、学校間で情報のやり取りをすることができた。互いの意見を尊重しながら、よりよい生徒会活動を目指し、協力し合うことが出来た。	3.09	4
		・クラブ活動への加入を推進できたか。		3	新入生オリエンテーション、ポスター掲示など行い、各班とも例年並みの人数が確保できた。	3.20	3
	② クラブ活動の充実	・クラブ活動の活性化を促す支援ができたか。		3	北信越壮行会を実施することができた。校外へ活動状況の発信するため、HPなどの利用が必要である。	3.15	3
(3) 地域連携と開かれた学校の創造	① 外部連携の拡大	・同窓会・PTAとの連携は十分行われたか。	企画	4	今年度は正副会長と綿密なやり取りをし、活発な議論等を展開することができた。あすま祭のPTA販売も好評だった。	2.97	3
		・学校評議員会を予定通り実施し、外部連携を深められたか。		3	今年度は学校評議員会を2回開催し、評議員からの提言を学校運営に生かすことができた。	3.13	3
		・養護学校、大学、地域との交流を通じて、学校間および地域社会との連携が深められたか。		4	9月、上田養護学校を訪問し、交流会を行うことができた。	2.97	4
	② 情報の発信と要望の受容	・公開授業を保護者や中学生に対して充実したものとして実施できたか。	企画	3	公開授業や体験入学を実施し多くの参加者があった。	3.22	3
		・学校行事や生徒会、クラブ活動等について積極的にHPに掲載し、情報発信ができたか。		2	クラブ活動等HPの内容を充実させ情報発信に取り組むことがやや不十分であった。	2.27	2
		・保護者、生徒アンケートを実施し、意見要望の受容ができ、その内容を検討、改善できたか。		3	例年並みの取り組みを行い、課題を各分掌や教科で共有している。	3.05	3
(4) 生徒の健全育成と安全安心な学校づくり	① きめ細かな生徒指導の実施	・基本的な生活習慣の確立によりマナー・ルールを守る精神を育成できたか。	生指	3	交通事故の件数が増加。更なる取り組みが必要。頭髪・化粧などの面の指導も徹底したい。	3.02	4
		・いじめや暴力を許さない指導を有効に実施することができたか。		4	SNSに関連して、写真・動画、仲間外れなどの問題に対応する必要性がさらに増している。	3.32	4
	② 生徒支援生徒相談体制の拡充	・不登校や発達障害など問題を抱える生徒への支援・相談を有効に実施できたか。	保健	4	初期段階での情報の共有と継続支援が大切である。学校のみでは解決できない事案が多く、支援を必要としているのは生徒だけではない。関係機関との連携がより重要となり組織的に対応することが不可欠。	3.34	3
		・生徒の健康管理、安全管理を適切に行うことができたか。		4	検診は計画通り実施できた。様々な疾患やアレルギーや体質異常などを持って入学する生徒が多くなり、個別対応や情報の把握に努めている。	3.38	3
	③ 危機管理の徹底	・防災対策は災害に対して有効に機能できるものであったか。	教務事務	4	例年通りの計画に従い対策を講じた。防災訓練は避難訓練を実施した。	3.07	4
		・学校危機に現実に対応できるマニュアルの点検と整備ができたか。		4	例年通りの点検と整備を行った。オクレンジャーは有効に活用できている。	2.91	3
		・工事中の安全確保を含め、学校施設の安全管理を徹底できたか。		4	工事の施工等に当たり安全確保を徹底した。	3.16	4